

安心 というまちの財産のために

# あなたの命を守る救急

☎救急課 ☎(84)5044



現在、苫小牧市内では消防署および5カ所の出張所に救急車を配備しています。

消防署の救急車は、平成28年4月から平日8時45分～17時15分の暫定運用を行っていましたが、平成31年4月1日から24時間体制の運用を開始します。

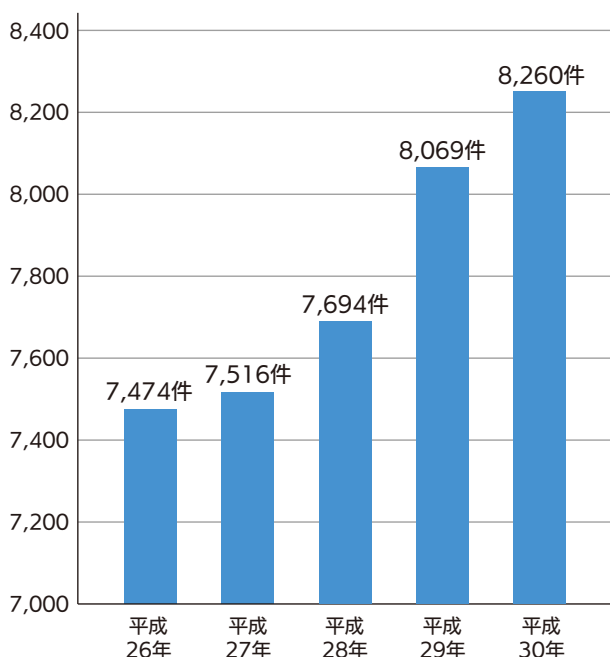
今回の特集では、救急車の適正利用や予防救急、もしものときの救命処置の方法などをご紹介します。

## 救急車出動の現状と適正利用

平成30年の救急車出動件数（速報値）は8,260件で、平成26年に比べ786件増加しています。

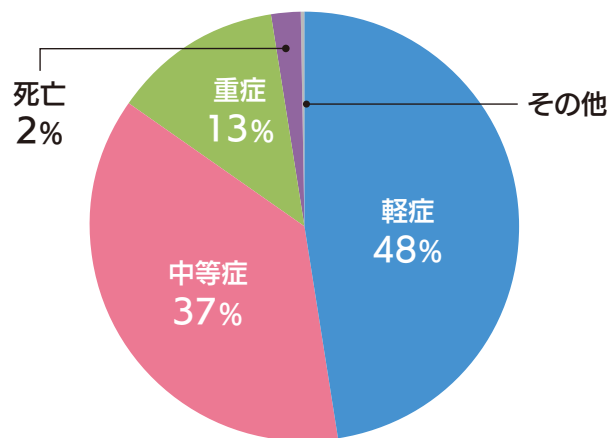
平成29年に医療機関へ搬送された人員は7,168人で、うち約半数は入院を要しない軽症の方でした。また、搬送人員に含まれない不搬送件数は965件あり、中には飲酒による<sup>めいてい</sup>、本人の搬送拒否、現場処置など、明らかに緊急性が低いと推察される状態も多く含まれます。「包丁で指を切った」「肩凝りがひどい」など、緊急性の低い出動が増加すると、生命の危機が迫っている方への対応の遅れにつながる場合があります。

### 救急車出動件数の推移（苫小牧市内）



### 傷病程度別搬送人員の内訳

（平成29年：総搬送人員7,168人）



- 軽症 (3,420人)
- 中等症 (2,663人)
- 重症 (920人)
- 死亡 (157人)
- その他 (8人)

※軽症…入院や加療が不要 ※中等症…3週間未満の入院が必要  
※重症…3週間以上の入院が必要